

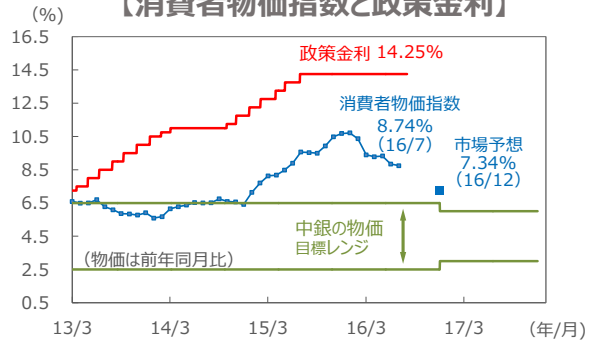
今日のトピック ブラジルの金融政策（2016年8月）

政策金利据え置き：ルセフ大統領は罷免

ポイント1 政策金利据え置き 9会合連続

- ブラジル中央銀行（以下、中銀）は、31日の通貨政策委員会で、市場の予想通り、政策金利を14.25%に据え置くことを決定しました。政策金利据え置きは9会合連続となります。
- 中銀は、今回の声明文で、金融緩和については2017年におけるインフレ目標（4.5%）達成をより強く確信させる要素次第との見解を示しました。

【消費者物価指数と政策金利】



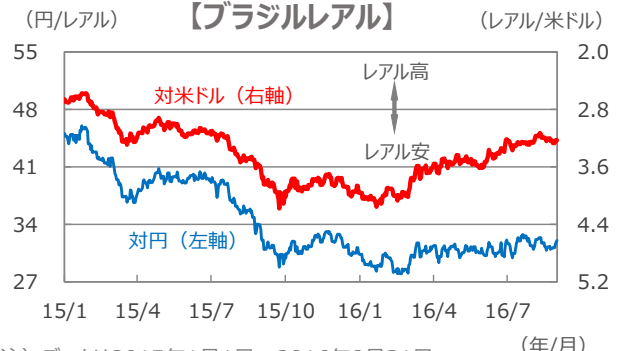
(注) 政策金利は2013年3月1日～2016年8月31日。消費者物価指数は2013年3月～2016年7月。市場の物価予想は、中銀による8月26日付け市場予想。中銀の物価目標は年+4.5%。レンジは2016年末まで±2%、2017年は±1.5%。

(出所) Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 インフレ率はやや低下 中銀は先行き利下げも

- 16年7月の消費者物価指数は前年同月比+8.74%と、前月（同+8.84%）から低下しました。インフレ率は、今年の1月（同+10.71%）をピークに低下傾向にあります。
- インフレ率は中銀の目標水準を上回っているものの、景気が深刻な後退局面にある中、インフレ率が低下基調で推移していることから、年内にも中銀が利下げに踏み切る可能性があると考えられます。

【ブラジルレアル】



(注) データは2015年1月1日～2016年8月31日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

ルセフ大統領は罷免：ブラジルレアルは堅調な推移

- ブラジル政府の国家会計の不正操作に関わったとされるルセフ大統領を被告とした弾劾裁判の採決が31日行われ、ルセフ氏の罷免が決まりました。これに伴い、現在大統領の職務を代行しているテメル副大統領が正式に大統領に昇格し、ルセフ氏の任期である18年末まで務めることとなります。
- ブラジルレアルは、米国の利上げの先送りや資源価格の上昇に加え、テメル暫定政権による財政再建への期待が追い風になり、対米ドルで上昇基調にあります。今後の注目点は、景気低迷下でテメル政権がどこまで財政再建を進められるかです。当面はテメル政権への期待がレアル相場を支えそうです。

ここも
チェック!

2016年8月 5日 いよいよ開催！「リオ五輪」(ブラジル)
2016年7月21日 ブラジルの金融政策 (2016年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。